

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2026年1月15日(YYYY/MM/DD)		
ふりがな 氏名 / Name		学生番号 / Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	経済学部/研究科 School/Graduate School	4 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☒ HUSA ☐ USAC	
留学先大学 Host University	国立成功 大学 (国名/Country: 台湾)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	社会科学院経済系	
在籍身分 Status at Host University	交換生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2025 年 9 月 4 日 ~ 2026 年 1 月 7 日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	旅行や観光といった断片的な体験ではなく、現地に深く根を下ろす「留学」を選択したのは、異文化の中で日本を客観視する経験こそが、自身の知見を広げられると思ったからです。数ある中で国立成功大学を志望したのは、海外の大学への強い興味に加え、IT先進国である台湾において、経済学をより国際的な視点から学びたいと考えたためです。特に自身の関心領域であるデータ分析やネットワーク技術が、アジア経済の中でどのように社会実装されているかを、現地での学びを通じて探究したいと願っていました。また、HSKの取得など、継続してきた中国語学習の成果を実社会で試したいという思いもありました。高度な学問的環境と多文化が交差するこの場所での挑戦は、将来、多角的な視点を持つために必要不可欠なステップであると考え志望しました。
留学準備を始めた時期（応募 する何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	応募の約1年前（前年12月頃）から開始しました。留学先での講義理解を深めるため、語学力の証明を最優先事項とし、前年12月にHSK3級、翌年1月にはHSK4級を立て続けに取得しました。
事前準備について（どのような 準備をしたか、しておけばよ かったか） Preparation Completed Prior to Study Abroad	事務面では、居留ビザの申請や残高証明書の発行を早めに行い、不備がないよう管理しました。学習面では、経済学やデータ分析に関する専門用語を中国語で予習し、現地の授業スピードに対応できるよう準備しました。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type: マルチビザ
----------------	--------------------------

	ビザ申請先 / Location of Visa Application: 駐日台湾文化経済処福岡分処
	提出書類 / Required Documents: パスポート、現地の大学の入学許可証
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process: 1 週間
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	大学に残高証明書や語学証明書を申込段階で送る
出国年月日 / Date of Departure	2025 年9 月 1 日 (YYYY /MM/ DD)
経路(往路) / Route (Outward)	福岡空港→(チャイナエアライン)台北桃園空港→(高速鉄道)台南市
現地での出迎え Pick-up Service	☐ 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) ☒ 無/No
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☒ 有/Yes 有の場合 期間/Period: 2025/09/04 - 2025/09/08 ☐ 無/No (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation__ ビザ、健康診断書、顔写真の提出と注意事項の説明
帰国年月日 / Date of Return	2026年 1月 9 日 (YYYY /MM/ DD)
経路(復路) / Route (Return)	経路(復路)/Route (Return) 台南→台北桃園空港(バス)→濟州国際空港→福岡空港(ティーウェイ航空)

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount		450000	円/yen
内訳 Details		渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	59000	円/yen
		ビザ申請手数料 / Visa Application Charge	11000	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	9000	円/yen
		保険料 / Travel Insurance	46000	円/yen
		教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)	2000	円/yen
		宿舍費(住居費) / Accommodation Fee	65000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost	2000	円/yen
		食費 / Meal Cost	111400	円/yen
		通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone	6500	円/yen
		交通費(宿舍～大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	0	円/yen
		交際費 / Social Expenses	111200	円/yen

		その他 / Others (交通 費) (費) (費)	20500	円/yen 円/yen 円/yen
--	--	--------------------------------------	-------	-------------------------

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	中国語(level4) 2単位 AI for Cybersecurity 3単位 population and poverty in economics 3単位 western literature 3単位 sports economics 2単位 resource economics 3単位 intensive course 合計で1単位 ・At the Boundary of Science and Humanities: Black Holes(英語) ・Mana Rangatira -Taonga Tākaro 中の毛利文化(英語) ・人工智慧和金融科技研究(英語) ・法律入門(中国語) ・introduction of SEO(中国語)
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☐ 有/Yes ☒ 無/No 4年後期での留学及び三年までに必要な単位を揃えていたのになし
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	英語開講の授業はグループワークがメインの授業が多いです。中国語で開講されている授業もレジュメが用意されているので頑張ればついて行けると思います。履修登録は先着順なので大学のスケジュールをしっかりと確認し開始日に登録しましょう。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦(ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	先生と学生の関係性は日本と同じだと思う。自分で意見を発表する機会は先生が学生に当てることが多かった。

5. 生活等について / Lifestyle

(1) 留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約 /approximately 20 m ²	同居人の有無 あり Roommate(s)? あり	☒ 有 / Yes (3 人/People) ☐ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☐ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☒ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☒ 暖房/ Heating ☒ 冷房/ Cooling ☐ 台所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		

住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month (現地通貨/ local currency) 5200台湾ドル	約/ approximately 16000円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	自分の部屋のドアが壊れていました。定期的に寮の計画停電計画断水があるので気を付けてください	
(2)医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☐ その他 / Others ()	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 20000000 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 20000 円 / yen その他 / Others ()	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☒ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations: 風疹、麻疹 , 医療機関名 / Location of Immunization: 地元のクリニック) ☐ 無 / No	
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	病院で海外保険をみせると保険適用されるそうです	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	水道水はあまりきれいではないので飲まないほうがいい ドラッグストアで市販薬も買えるが日本より高い	
(3)危険を感じた地域, 状況, 安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management		
危険というほどではありませんが、宗教勧誘は多いです 日本でも大学周辺でよく見るキリスト教系の団体が勧誘活動をしています 現地の学生によると台湾ではよくあることらしいです また、物乞い？ホームレス？の人が駅前にたくさんいます 英語は皆さんが想像するより通じないと思います。台北では全部英語でも問題ありませんでしたが台南は中国語が分からないと注文や買い物は難しいです。		
(4)食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice		
ほぼ外食、大学内に飲食店はたくさんあります。自炊は量のキッチンが使いえなかったのでできませんでした。		
(5)気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing		
9月まで毎日猛暑日です、11月まで暑く冬も気温は20度を超えますが、風が強く寒く感じるので冬服はあったほうがいいと思います。		
(6)学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)		

大学内はフリーwifiがある、図書館も平日は24時間空いている、学食はありませんが店がたくさんあるので飲食には全く困りません、というか種類がありすぎて困るくらいです。

(7) 現地学生や地域との交流について(どのような、機会・きっかけがありましたか?)
/ Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)

日台交流会というのが各学部にあるので入っていました。

日本人10人台湾人10人くらいいて毎週水曜の昼休みに活動していました。

(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等, 注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners

留学生の国籍に関してはインドネシアが1番多いです。

自分の知る限りでは、フランス、ドイツ、オランダ、トルコ、スイス、フィンランド、インド、タイ、パラグアイ、グアテマラ、ベリーズ、ブラジルの学生がいました。

日本人は交換生だと他の台湾の大学と比べたら少ないと思います。

なので英語が話せたほうが授業やグループワークが進めやすいです。大学内では中国以後はそれほどできなくてもそこまで困らないでしょう。

(9) 日本から持っていくべきもの, 持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?

ユニクロ、GUがあるので服には困らないが日本より高い

NETという店がかなり安いのでおすすめ

寮はwifiがないのでルーターを持っていくこと

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

台南は11月初旬まで30度くらいの日が続きますが、11月中旬頃に急に寒くなります。
冬でも最高気温は25度前後になりますが風が強く体感温度は寒いです。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2026 年 / year 4 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2026 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☒ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☒ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)

現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	民間企業へ就職
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等につい ての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	卒業に必要な単位は3年次までに取り終えました。 経済学部の場合、卒論は必須ではなく他学部の単位も10単位ほどとれるのでそこまで苦 劳しませんでした。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

/ Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細(出版社, URL等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
台湾物語	筑摩選書	台湾の歴史、特に日本統治時代のことが詳しく書かれて います。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

特に経済学部で留学を考えている人は2年次後半または4年次後半に行くことを勧めます。ゼミによってはゼミの開講期間中でも留学できる場所はありますが限られています。また、円安のため想像よりお金がかかったので奨学金等利用できるものは利用したほうがいいです。自分は制限なしで返済不要の奨学金は審査のハードルが高く利用しませんでした。学生団体などに所属し目的をもって行動されている方なら申し込んだほうがいいでしょう。特にアメリカや西欧、オーストラリアへの留学を考えている方は相当な資金が必要だと思うので申し込めるものは申し込むこと

IELTsなど語学試験については募集の1か月前には受験しておいたほうがいいです。自分の大学はTOEICだけでも可能ですが欧米の大学はどこもIELTsまたはTOEFLは必須ですので大学の無料セミナーなどで対策してください。また非英語圏の国の場合英語で受けられる授業には限りがあるので台湾または4中国への留学を考えているのであればhsk 5級まで取っていれば現地の授業も受けやすくなると思います。

9. 自由記述(日本語・1,200字程度)/ Feedback (English about 600 words)

・以下の点を踏まえ、記述して下さい。/ Please give your feedback including the following points:

- 1 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
- 2 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
- 3 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
- 4 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて)/ How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

・写真を2〜3枚程度、貼り付けてください(写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい)。

Please add 2-3 photos (within 500 KB per photo).

1. 留学を終えての所感

今回の台湾留学において大学での講義やグループワーク、そして現地での観光を通じて得たものは、単なる知識の習得に留まらない。異文化環境下での適応力、予期せぬ事態への対応、そして多様な背景を持つ他者との協働という、実戦的な人間力の向上を実感している。この留学は、私の学問的視野を広げると同時に、今後のキャリア形成における強固な土台を築く極めて有意義な期間となった。

2. 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事

① 歴史的遺産と地域経済の連続性

現地でのフィールドワークにおいて最も印象深かったのは、台湾各地に残る日本統治時代の痕跡と、それが現代の地域経済や観光資源としていかに機能しているかという点である。阿里山や日月潭といった主要な観光地のみならず、市街地の至る所に植民地時代の建造物や資料が保存されており、一部の地域では神社や日本式住宅が今なおコミュニティの一部として存在していた。

これらは単なる過去の遺物ではなく、現在の台湾における対日感情の良さや、観光経済の重要な柱として再活用されている。歴史的な負の側面を抱えつつも、それを文化的な資産として取り込み、経済的な価値へと昇華させている現地の柔軟な姿勢には、経済発展における文化資本の重要性を再認識させられた。

② 都市インフラの不確実性と経済格差の目撃

一方で、観光の華やかさとは対照的な社会の歪みも目撃した。阿里山などでは、公共バスが時刻通りに来ない、あるいは交通ルールの徹底が不十分であるといった、インフラ運用における不確実性に直面した。これは日本のインフラ水準に慣れた私にとって大きな戸惑いであったが、同時に「効率性」と「柔軟性」のバランスを考える契機となった。

さらに気づいたのは、駅前や市街地における経済格差である。活気ある商業地区のすぐ傍らで、ホームレスや物乞いをする人々の姿を頻繁に目にした。統計上の数値では捉えきれない、都市部における貧困の固定化や所得再分配の課題が、そこには可視化されていた。経済成長を遂げた台湾においても、富の偏在という課題が深刻であることを肌で感じた体験は、今後生きていくうえで貧困問題を考える契機となった。

3. 留学の成果、留学前と比較して成長した点

生活面における最大の試練は、3人部屋というプライバシーのない環境であった。異なる生活習慣や価値観を持つルームメイトと密接に関わり続ける中で、当初は精神的な疲労を感じることも多かった。しかし、この環境に適応する過程で、ストレスを客観的に管理する術や、他者を尊重しつつも自身の学習時間を確保する交渉力が養われた。留学前と比較

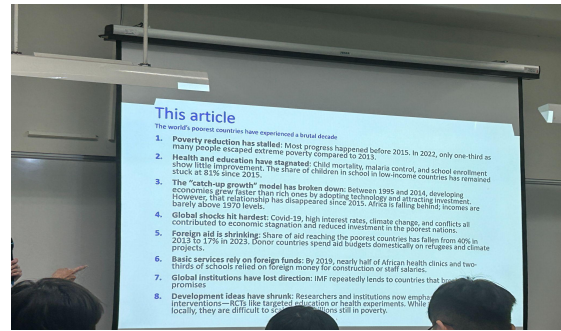
し、どのような制約条件下でも自身のパフォーマンスを維持できる「精神的な忍耐力」が向上したと感じている。大学の授業ではグループワークが多用され、現地の学生や留学生と共に課題解決に取り組んだ。言語の壁に加え、議論の進め方や優先順位の付け方の違いから衝突が生じることもあったが、私は自ら積極的に議論の整理役を担い、共通の目標達成に向けてチームを牽引することを意識した。この経験を通じて、単なる語学力に留まらない、多文化間での「主体性」と「論理的コミュニケーション能力」を確立することができた。

4. 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか

卒業後はIT企業のエンジニアとして、社会のデジタル基盤を支える役割を担う予定である。今回の留学で得た知見は、技術者としてのキャリアにおいて多面的に寄与できていると思う。まず、「社会課題への感度」である。技術が誰を救い、どのような社会を実現すべきかということを考えるようになった。留学で得た知見を忘れず、グローバルな視野を



持ってエンジニアに従事していきたいと考えている。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSAホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます(氏名及び学生番号については、非公開とします)。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、留学交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。/ This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by Global Exchange Group.